

腐敗防止・労務に関する グローバルコンプライアンス

～豊富な資料で海外主要国の腐敗防止法(16か国)・労働法(12か国)
の徹底比較解説と海外関連会社管理のコツ・チェックリストを紹介～

なかやまたつき 中山国際法律事務所 代表弁護士
講師 **中山達樹氏** 国際化支援アドバイザー 公認不正検査士

日時 平成28年10月14日(金) 午後2時00分～午後5時00分

日本企業のアジアをはじめとする海外進出が盛んになっています。しかしながら、海外には汚職や労務等、現地の特殊性に応じた管理が必要になります。海外関連会社を適切に管理していないことが、親会社の責任を生じさせる場合もあり得ます。

ところが、グローバルコンプライアンスに対する日系企業の意識は、欧米企業等に比べると、格段に低いままです。そこで、日系企業が苦手とするグローバルコンプライアンスの意識を高め、効果的な海外関連会社管理を行うべく、豊富な事例とチェックリストを用意しました。

1 海外主要国の徹底比較・現状把握

- (1) 海外主要国の文化的・制度的・法的特徴、成熟度、民度、将来性、進出・労務のハードル、腐敗状況
- (2) 海外各国の特徴の横断的比較

2 海外主要16か国の腐敗防止規制とその対策

- (1) 海外公務員に対する腐敗防止規制の概要と比較
- (2) 日・米・英・独・仏・中・インド・シンガポール・マレーシア・ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピン・ミャンマー・ブラジル・スリランカの腐敗防止規制
- (3) 腐敗防止の具体的対策とチェックリスト

3 海外主要12か国の労務規制とその対策

- (1) 海外主要国の労務規制の概要と比較
- (2) 米・中・ブラジル・インド・シンガポール・マレーシア・ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピン・ミャンマー・スリランカの労務規制
- (3) 労務管理の具体的対策とチェックリスト

4 海外関連会社の効果的管理方法

- (1) 理想的な海外関連会社管理方法
- (2) 海外関連会社管理の現状と問題点
- (3) 海外関連会社管理の具体的対策とチェックリスト

【講師略歴】

1998年東京大学法学部卒業

2005年弁護士登録

2007年三宅・山崎法律事務所入所

2010年シンガポール国立大学ロースクール修士課程(アジア法専攻)修了

2010年～2011年シンガポールのDrew & Napier法律事務所に、初の日本人弁護士として勤務

2013年中小機構国際化支援アドバイザー

2015年中山国際法律事務所開設

【著書・論文】

『シンガポールの紛争解決(民事訴訟・商事仲裁)』シンガポール日本人商工会議所所報、

『アジア労働法の実務 Q&A』商事法務(2011年)その他。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 **経営調査研究会**
■後援 **金融財務研究会**
http://www.kinyu.co.jp

Facebook : <http://www.facebook.com/keichoken>
Twitter : <https://twitter.com/#!/keichoken>
Blog : <http://keichoken.blogspot.com/>

